

令和4年度 横浜地区高等学校水泳競技大会 実施に向けて

基本的な考え方

はじめに

本大会は、神奈川県高等学校体育連盟で示されている「主催大会等実施に関わる感染防止ガイドライン」に基づいて実施します。また、顧問の先生方は、主催大会等実施に関わる感染防止ガイドラインを事前に確認しておいて下さい。

<全般的な事項>

以下の事項に該当する者は、大会参加は認めない。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1：体調がよくない場合 →発熱・咳・院疼痛等風邪の症状がある場合2：同居家族に感染の疑いがある場合3：過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合4：過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合 |
|--|

- ① 入場後、受付で「参加状況報告書（別紙2）」を提出する。
- ② 参加する選手は大会当日に「生徒の健康状況チェックシートおよび参加確認書（別紙1）」を顧問が回収し、30日間保管しておく。
- ③ 入場前の検温において、平熱を超える発熱（おおむね37.5度以上）がでた選手の参加は認めない。
- ④ 入場するときは、室内履きに履き替える。その際、外履きを入れる袋を用意しておく。
- ⑤ 手指消毒をこまめに行う。
- ⑥ アップやレース以外は、常にマスクの着用を義務づける。
- ⑦ 食事をする際は「黙食」を徹底する。
- ⑧ 更衣や食事する場所では3密を避ける。
- ⑨ 集団で移動する際は3密を避ける。
- ⑩ 大会中に発熱等の症状を訴える選手を確認した場合は、顧問が保護者と連絡を取り、当該選手を安全に帰宅させる。その際、速やか主催者にも報告をする。また、安全に帰宅できるまでの間（親に迎えに来てもらうまで）、保健室で待機する。
- ⑪ 顧問は、その後の状況を会場責任者に連絡を入れる。
- ⑫ 競技終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、感染者の所属する学校や行政機関の指示に従うこと。
- ⑬ 発症した場合は、県高体連に報告等をするため、必ず主催者にも連絡を入れこと。

<その他>

- ① 本大会は保護者（観客）を入れての開催を予定する。詳しい内容は、2次要項で掲載する。

令和4年度 第47回 横浜地区高等学校水泳競技大会 実施要項

- 1 主催 横浜地区高体連水泳専門部
- 2 主管 横浜地区高等学校体育連盟
- 3 後援 神奈川県高等学校体育連盟、(一社)横浜水泳協会
- 4 期日 8月27日(土) 開場7時30分
- 5 会場 横浜国際メインプール(公認50m×10レーン)
所在地: 横浜市都筑区北山田7-3-1
- 6 競技日程

1	女子	200m個人メドレー	タイム決勝	17	女子	100m平泳ぎ	タイム決勝
2	男子	200m個人メドレー	タイム決勝	18	男子	100m平泳ぎ	タイム決勝
3	女子	50m自由形	予選	19	女子	100m背泳ぎ	タイム決勝
4	男子	50m自由形	予選	20	男子	100m背泳ぎ	タイム決勝
5	女子	50m平泳ぎ	予選	21	女子	100mバタフライ	タイム決勝
6	男子	50m平泳ぎ	予選	22	男子	100mバタフライ	タイム決勝
7	女子	50m背泳ぎ	予選	23	女子	50m自由形	決勝
8	男子	50m背泳ぎ	予選	24	男子	50m自由形	決勝
9	女子	50mバタフライ	予選	25	女子	50m平泳ぎ	決勝
10	男子	50mバタフライ	予選	26	女子	50m平泳ぎ	決勝
11	女子	200mメドレーリレー	タイム決勝	27	女子	50m背泳ぎ	決勝
12	男子	200mメドレーリレー	タイム決勝	28	男子	50m背泳ぎ	決勝
13	女子	400m自由形	タイム決勝	29	女子	50mバタフライ	決勝
14	男子	400m自由形	タイム決勝	30	男子	50mバタフライ	決勝
15	女子	100m自由形	タイム決勝	31	女子	200mフリーリレー	タイム決勝
16	男子	100m自由形	タイム決勝	32	女子	200mフリーリレー	タイム決勝

7 競技規則

2022年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。(公認大会)

8 競技方法

- 1) 競技は予選・決勝ともに10レーンで行う。
- 2) 男女100m種目、200m個人メドレー、400m自由形はタイム決勝する。
- 3) 決勝は、予選の結果、上位10名が出場できる。ただし、棄権がでた場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- 4) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、抽選で優先順位を決定する(最終組終了後すぐ)。

9 引率・監督

- 1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、県高体連会長に事前に届け出ること。
- 2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

10 参加資格

- 1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。

- 2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録した者、また 2022 年度(公財)日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- 3) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- 4) 再編統合対象校による合同参加を認めない。
- 5) 転校・転籍後 6 ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)
但し、一家転住等やむを得ない場合は、専門部長の承認があればこの限りではない。
- 6) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

1 1 制限記録

参加制限は設けない。

1 2 参加種目制限

1 校 1 種目男女 2 名以内、1 名 2 種目以内とする。(ただしリレー競技は除く)

リレー種目は、1 校男女各 1 チームとする。

1 3 オープン参加について

本競技にエントリーしていない生徒を対象に、1 名 1 種目「オープン参加」を認める。(人数制限なし)
ただし、リレー種目、400m 自由形は除く。各種目の最初の組で同様にレースを行い公認記録とする。

* オープン参加の者は、エントリータイムに『50 分[5000.0]』を加え、一覧表の番号を赤○で囲むこと。

1 4 参加申込書類

1) web-swmsys を利用し、7 月 29 日(金)までにエントリー作業を行うこと。

2) 次に指定する申込書類(web-swmsys より印刷する各帳票)を 8 月 5 日(金)までに郵送する。

①【競技会申し込み(エントリー-TIME)一覧表】

②【競技会リレー一覧表】

③【競技会申込明細表】(代表者欄に公印を必ず押印する)

④【振込用紙のコピー】※大会当日に領収書を受付で渡します。

※申込責任者、大会当日の引率者、競技役員名等を必ず入力する。

郵送先: 233-0011 横浜市港南区東永谷 2-1-1 南高等学校 立貞 栄司 宛

* 封筒には、「地区大会申込書在中」と記載してください。

1 5 申込金

選手 1 名 1,000 円

* 内訳は、感染対策費、空調費、公認料とする。原則として返金はできない。

1 6 振込先

* 振込人名義は、学校名の前に「高体連の学校番号(14___)+学校名」を入力ください。

横浜銀行 横浜駅前支店(383) 普通預金 口座番号 6326031

横浜地区高体連水泳専門部

1 7 その他

1) マネージャー各校 2 名まで入場することができる。

2) 本大会は保護者(観客)を入れての開催を予定する。

・保護者の観戦の有無は、8 月 10 日(水)を目安に HP にてお知らせする。

・詳細については、2 次要項にて掲載する。

3) 2 次要項は 8 月 22 日(月)に横浜地区の HP に掲載する。